

直向きに勝つ

近代コーチの祖・岡部平太

橋 京平

Tachibana Kyohei

「争うのではない。競うのだ」

学生最強の柔道家として大正初期に単身渡米。

抜群の運動能力でアメフトから陸上まで多くの競技を体得したのち、科学的スポーツ論を引っさげ帰国。

早すぎた“選手ファースト主義者”として旧態の組織と対立し、

満洲に渡ってスポーツによる日中融和を目指すも挫折。

戦後は特攻で失った息子への愛惜を込め「平和台競技場」の創設に尽力。

1951年、「いたてん」金栗四三と共に

ボストン・マラソンで日本初の優勝者を輩出—。

GHQから「平和台」を奪還。選手ファースト主義を貫き、

根拠なき精神論と権威に抗って

“スポーツの神様”と呼ばれた男・岡部平太。

「純粋なスポーツ」を求め続けた苛烈な生涯を描く。

岡部平太…1891年(明治24)～1966年(昭和41)。近代コーチの祖とされるスポーツ指導者。日本で最初のアメリカンフットボール紹介者。福岡県生まれ。柔道8段、剣道5段。東京高等師範学校で嘉納治五郎の寵愛を受け、抜群の運動能力で柔道、剣道、相撲、軟式テニス、陸上、野球、ボートと多岐にわたり活躍。1917年(大正6)、渡米しバスケット・水泳・陸上・アメフト、体育理論とコーチ理論を学ぶかたわら、ボクシングやレスリングの道場に通い、サッカー、野球、テニス等に片っ端から挑む。帰国後、プロレスVS柔道の興行に反対し嘉納治五郎と決裂。1921年(大正10)満洲に渡り満鉄を拠点に世界行脚し陸上やスケートなど世界の最先端の理論を学び、陸上の織田幹雄(アムステルダム五輪金メダル)や南部忠平(ロス五輪金メダル)、日本女性初のオリンピックメダリスト・人見絹枝を指導するなどの功績で「スポーツの神様」と呼ばれる。戦後は「平和台」をGHQから奪還し第3回福岡国体の会場とした後、NHK大河ドラマ『いたてん』のモデルとなった金栗四三と共に1951年(昭和31)、世界最古の歴史を持つボストンマラソンで初の優勝者(田中茂樹)を輩出。前回東京五輪の陸上コーチに就任するも志半ばで病没。

[ジャンル]近代史・スポーツ史



「争うのではない。競うのだ」

学生最強の柔道家として大正初期に単身渡米。
抜群の運動能力でアメフトから水泳、スキー、陸上まで多くの競技を体得したのち、科学的スポーツ論を引っさげ帰国。
早すぎた選手ファースト主義者として日本の組織と対立し、満洲に渡ってスポーツによる日中融和を目指すも挫折。
戦後に特攻で失った息子への愛惜を込め「平和台競技場」の創設に尽力。1951年、「いたてん」(金栗四三と共にボストン・マラソンで日本初の優勝者を輩出—)。

GHQから「平和台」を奪還し、“スポーツの神様”と呼ばれた男

忘羊社

四六判上製・272ページ

ISBN978-4-907902-28-5

定価:本体1900円+税

2020年6月中旬刊

プロlogue 昭和の巖流島

第一章 敗戦國に勝利を

第二章 天狗と呼ばれた男

第三章 コーチの覚悟とは

第四章 プロ対アマチュア

第五章 満洲から世界へ

第六章 宿命的な対決

第七章 迫り来る暗雲

第八章 哀れと絶望

第九章 平和への再生

第十章 遺された教え

橋 京平(たちばな・きょうへい):

知られざる偉人を発掘し、世に出すために西日本新聞メディアラボ(福岡市)が立ち上げたプロジェクト名。2019年、『Peace Hill—天狗と呼ばれた男 岡部平太物語』(上下巻、幻冬舎)を上梓。

忘羊社	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-907902-28-5 C0023
	冊	直向きに勝つ	様	本体 1,900 円+税
	冊	既刊(人文)	ボクシングと大東亜	定価 2,200 円+税
	冊	既刊(人文)	忘れられた人類学者	定価 2,000 円+税
	冊	新刊(人文)	日本を愛した人類学者	*上記の続編です 定価 2,200 円+税
福岡市中央区大手門1-7-18-901 電話 092(406)2036				

ご注文はFAX:092-406-2093(忘羊社)まで